

平成26年度
事業計画抜粋

- ・紫紺カラオケ会毎月最終土曜日 15:30〜ひじり館 会費500円
- ・紫紺3号発行
- ・サントリービル武蔵野工場見学 7月18日(金)京王線分倍河原駅南ロータリー前9:50集合
- ・ラグビー・六大学野球観戦 その都度ご案内
- ・紫紺4号 1月中旬発行予定
- ・明大平和教育登戸研究所資料館 2月見学予定
- ・ディスクゴルフ大会 3月28日(土)昭和記念公園



平成25年度
下期活動報告

一、カラオケ「紫紺会」で
交流深まる!!

寺島 忠昭(S41 経営) 毎月最終土曜日には、10〜15名が参加して、自慢ののどを披露。交流を深めています。

8月31日には、カラオケ会に合わせて森和子会員が講師となり、料理教室を行いました。料理は即カラ

オケ会の酒肴となり、最高の「つまみ」で盛り上がりました。校友の皆さん、一度是非参加してみてください。当日直接参加歓迎。

- ・担当：企画部会
- 寺島・伊東・秋山・山下
- ・連絡先：寺島  
- メールアドレス

二、盛り上がった
ディスクゴルフ大会

伊東 勝義(S35 商)



桜も開化した3月29日、立川の昭和記念公園で、第4回多摩地域支部対抗ディスクゴルフ大会が開催されました。当日は各

地域支部を

代表して、14地域支部62名が参加しました。そしてゴルフボールならぬディスクを、9ホールの目標ゴール目掛けて投擲し、歓声と悲鳴と興奮の中、1時間30分ほどで無事終了しました。

その後、公園内を散策した後、立

川(やぶ砂)に移動し、懇親会及び表彰式を実施。優勝は日野、準優勝は青梅、第3位は初参加の福生でした。今回初めてディスクゴルフを経験した人が多く、やってみると意外と面白いとの感想も多数あり、大いに盛り上がりました。

三、観桜会開催

秋山 隆敬(S43 法)

4月5日桜ヶ丘公園(お花見坂)に於いて会員15名参加のもと観桜会を開催しました。前年の雨天とは打って変わって好天に恵まれ、楽し



い花見となりました。続いて場所をひじり館に移し、カラオケ三昧となり高らかに校歌斉唱で終了となりました。

会員活動便り

一、写真が取り持つ縁

矢場 岩男(S43 商)

全日写真・永山クラブ第7回写真展が、ベルブ永山3Fギャラリーにて1月31日から5日間開催されました。ご鑑賞いただきました「みどりの保育園」石橋先生のご縁で3月5日「野鳥写真のお話会」を持つこととなり、これも多摩市地域支部活動の「地域貢献に資する」との会則に基づきお引き受けした次第です。みどりの保育園は連光寺3丁目

に所在し、昭和49年4月園児60名で開園され、3年ほど前に新園舎が竣工、保育室、ホール、庭園等が完備された認可保育園です。現在は0〜5歳までの園児120名。午前7時から午後6時まで預かっているとのことでした。当日、発熱した園児の手当て、父兄との連絡等に追われ、ご苦労されている様を目の当たりにし、大変さが分かり頭が下がりました。

さて、説明に当たり先ず、野鳥観察3つの約束①餌を与えない②20m以上離れて観察③大きな音を立てない等説明し、野鳥の大きさを認識するためスズメ、カラス、ハトから始め、そばの桜ヶ丘公園で撮ったものを中心に、半切パネルとA4判プリント総数約50種を説明しました。海外で撮った野鳥若干のうち、ニュージールランドの飛べない野鳥「カカポ」(フクロウ目)を知っている園児には、とても驚きました。

最後に、今日の野鳥の話で鳥の名前を一つでも覚えてもらい、今後先生や父兄と一緒に散歩で野鳥を見かけたなら「この小鳥は〇〇と言うんだよ」と教えてあげてほしい、と締めくくりました。また持参したパネル写真(半切)数枚を園内に掲示させて頂くこととなり差し上げてまいりました。

園児は皆興味津々で盛んな質問攻めにあい、久し振りに刺激と元気とやる気を貰った次第です。終了後、添加物



の少ない国産食材で園こだわりの手作り昼食を園児と一緒に頂きました。帰りに高橋誠一園長から「第2回」も宜しくとのお話を頂きましたが、果たして何時になることやら…。

二、「写真でつづる自分史」 私の履歴書

寺島 忠昭(S 41 経営)
4〜9月、連続6回・永山公民館で学習講座を開設して講師を務めております。毎月第二日曜日の午後1時30分〜3時の90分講座です。10月からは第2回も企画しております。講座名は「写真でつづる自分史・私の履歴書」です。TAMAM市民大学(私は20年来の会員)の後押しで実施に踏み切りました。現在、受講生は20名です。

若干、経緯を述べると、3年前の東日本大震災で命のはかなさを知りました。当時、私は67歳でした。親父の亡くなった69歳まであと2年、自分の命があと何年かわかりませんが、持病を二つも持っているのです。そんな長生き出来ないの思いに至りました。

そんな中で、家族、家屋を流され途方に暮れている大勢の被災者の映像が繰り返し流されていました。家族は流されて戻ってこない中で、ア

ルバムだけが見つかり、泣きながら水で泥を流している姿に思わず涙しました。

そういう被災地から大量のアルバム、写真の修整・加工の依頼が、私の知人に舞い込んでいました。彼は、



それを修整・加工して、DVDにデジタル化して送り返していました。その彼が仕事の合間に見せてくれたのが「写真でつづる自分史」だったのです。亡くなったお父様へ捧げる「追悼史」の意味合いがあったそうです。出来栄えに感動しました。よし、自分も親父・お袋への追悼史を作ろうと思いい立ちました。

しかし、先ずは自分のものを作ってからにすることにしました。写真を集め、選ぶ作業が大変でした。写真を年代順に並べ、年代、撮影場所、一緒に写っている人の名前、人間関係、思い出、当時の考え方、人生観等を10〜20行記すのです。最初は一人娘に残そうとして作り始めたの

ですが、段々、これは人生の棚卸だと気づきました。まさに「人生の反省記」なのです。昨秋、日蓮宗の寺院活性化コンペがありました。お寺さんに近隣の住民が集まり、自分史作りをするという企画を投稿しました。パソコンの多少出来る方が教えあうというところがミソです。これによってコミュニケーションがよくなり、お寺さんが身近に感じられるというものでした。なんとこれが入賞しました。これで多少自信がついたのも始めた動機の一つです。

写真の情報量は膨大です。昔の紙焼き写真を見ることによって記憶が鮮明に蘇ります。文字も多く書く必要はない、写真が物語ってくれます。自分史は自分の「生きざま」を表します。

これからの自分の生き方を考える機会になります。最終的には、この作品を通じて家族・親族の絆が深まることを念じております。また、この講座を通じて受講生相互の交流が深まれば幸いです。この講座では、最後に自分、家族と世の中の出来事を対比した「自分史年表」と、同じように「未来史年表」を作ります。100歳迄の「未来史」を作るには、世界情勢を読み解く頭脳が必要です。ドイツの中年男性で、世界記憶

力大会で連続チャンピオンの頭脳活性化の秘策はなんと毎日のウォーキングだけ、それもたったの1時間程度。特別、頭脳のトレーニングはやっていないのです。これで心身ともに壮健な健康を維持しているのです。私も、毎日のウォーキングと仲間との「時事放談」で100才迄の「健康寿命」を目指します。

三、我が闘病の記

杉山 喬(S45工)

思いがけないことでした。私がまさか癌に罹るとは。毎年人間ドックに、そして癌と診断された1年半前にはPET(陽電子放射断層撮影)を受診し、全く異常が見つからなかったのです。

昨年10月に喉の痛みで4つの病院に通った挙げ句、12月の誕生日に下咽頭癌と告げられ、それもリンパ線、甲状腺に転移しステージ4と診断されました。

私はその当時まだ仕事を続けており、2014年3月末で勤続44年に終止符を打つ予定でした。退職まで後4ヶ月を残しての癌の宣告、入院・手術・療養を経ての職場復帰は甚だ難しく思いました。

主治医からは、手術による患部の全摘出か放射線治療かの何れかと

のこと。前者の手術では声帯の摘出で声を失うこと。後者は放射線治療を連日受け、長期にわたる治療、と同時に再発のリスクがあるとのことでした。

そこで私は主治医の「悪性腫瘍を完全に切り除けば、声を失うものの、今まで通りの生活を取り戻すことができる。」の一言で、家内の同意の下、手術の決断をいたしました。

その夜、電話で子供達にその旨を伝えましたが、恐らく相当なショックだったと思います。息子は「今度の通院時に一緒に行つていいかな。」と息子が直接主治医に確認したいらしい。娘は「手術すれば絶対に治るのだね。」の念押し。

手術は12月16日、12時間30分におよびましたが、無事終わり、その後の入院生活、自宅療養、職場復帰そして退職と、想像以上の順調な快復ぶりでした。術後の病理検査結果では「抗がん剤、放射線治療の必要はなく、5年間の経過観察のみ」との報告を受け安堵致しました。

その一方では、嚥下障害、首の付け根に取り付けた人工呼吸孔による入浴制限など、手術前では想像していなかった幾つかの不都合が残りました。

手術から半年になりますが、今で

はスポーツクラブでの筋肉トレーニング、囲碁教室通いの再開と手術前とほとんど変わらない生活に戻れたと思つていきます。

校友会の活動も徐々にではありませんが再開したいと思えます。今では長時間の集中力を維持するだけの自信を持てるようになりました。この半年間のブランクを埋めるべく校友会活動に力を注いでいきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。(2014年5月31日)

会員の動静

(順不同・敬称略)

残念ながら次の7氏が体調不良や一身上の都合により退会されました。
堀内正雄(S37・商) 牛山正道(S26・商)
土田 充(S33・法) 加藤雅世(S38・法)
小西弘之(S62・商) 中野康正(S33・短)
石渡敏夫(S39・商)
会員数97名(平成26年5月現在)
会員相互の動静もお知らせください。

年会費納入のお願い

未納の方は、同封の振込用紙にてお支払いをお願いします。

編集後記

充実した体験記に感動!!! (や)

会員ギャラリー 自慢の一葉③



① 前穂高岳 (北穂高岳)
撮影者 鶴田 勇雄



② カンムリカイツブリ (求愛給餌)
撮影者 矢場 岩男